

共同研究シリーズ

南山大学地域研究センター共同研究「翻訳と通訳の過去・現在・未来～多言語と多文化を結んで～」研究会では2019年から3年間の研究成果として『翻訳と通訳の過去・現在・未来—多言語と多文化を結んで』を刊行いたしました。

共同研究シリーズ 13

『翻訳と通訳の過去・現在・未来 —多言語と多文化を結んで』

2022年3月31日 初版第1刷発行

編者：泉水浩隆（南山大学外国語学部）



発行者：前田俊秀

発行所：株式会社 三修社

編集担当：松居奈都

印刷・製本：日経印刷株式会社

ISBN978-4-384-06022-5 C1080

[本体] 4,000円＋税

まえがき		泉水浩隆
第1部 通訳・翻訳の「過去」		
第1章	翻訳と言葉選び ——スペイン文学・日本文学から	佐竹謙一
第2章	ドイツにおける三島文学の受容と翻訳 ——表現手段としての宗教言語	藁谷郁美
第3章	与謝蕪村の俳諧の漢訳	王岩
第4章	「自分の口・他人の声」 “One’s mouth, someone else’s voice” ——翻訳について	金承哲
第5章	心の声が聞こえてしまう ——藤子・F、十蘭、ボイエから	森元庸介
第2部 通訳・翻訳の「現在」		
第6章	フランスをよりよく知るために ——フランス歴史書の翻訳をめぐる	大嶋厚
第7章	スペイン人の心に響く春樹文学の魅力 ——翻訳を通して	小阪知弘
第8章	医療・司法通訳の世界	浅野輝子
第9章	裁判を受ける権利と法廷通訳	沢登文治
第10章	コロナ禍における日西通訳業務の変容と遠隔通訳 ——日西通訳者への質問紙調査から	吉田理加
第11章	通訳ブースからみる世界 ——A View of the World from an Interpreter’s Booth	鶴田知佳子
第3部 通訳・翻訳の「未来」		
第12章	翻訳のいま	細井直子

	——オンライン・プラットフォームを利用した国際同時翻訳の試み	
第 13 章	会議通訳の未来 —その課題とチャンス、解決策	Antje Witzel
第 14 章	機械翻訳と翻訳のメタ言語	山田優
あとがき		泉水浩隆

●ご購入は書店または下記までお問い合わせください。

株式会社 三修社 東京都渋谷区神宮前 2-2-22 Tel:(03)3405-4511 / Fax:(03)3405-4522